

恵の実「ステップくん」 2021年2月実施

保護者等向け

放課後等デイサービス評価表

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14			
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	6	7	1	<p>・障害が重い子が多く、それに対しての人数は少なく感じます。</p> <p>・ステップ全体の職員配置数としては法的には適正かと思う。しかし、自立歩行が可能だが知的発達が遅い子が多いため、今の職員の人数では活動に支障がでたり、親の支援が必要となっている現状はあると思う。</p> <p>・まだまだ足りないところがあると思う。</p> <p>⇒職員の配置基準は満たしているが、限られた職員数で、子ども達ひとりひとりの願いに応えていくためには、個々の療育のねらいを明確化し、療育全体をどう工夫していくのか、綿密な計画とそれを実行するための職員間の連携が必要である。次年度は今年度の反省を生かし、活動計画や職員の役割分担などの見直しを行い、療育の充実を図りたい。</p>
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	12	2		
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	13		1	⇒保護者のニーズを聞き取ることや、事業所としての分析結果やそれに基づく計画内容など、保護者との共有が足りていなかった保護者の方がいたことに気づかされた。次年度は、どの保護者に対しても丁寧な支援ができるよう心掛ける。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	14			
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	14			・異学年での活動や学童クラブの子ども達との交流が、昨年よりもたくさん行うことができていると思う。学校ではもらえない刺激を多くに受けることができ嬉しい。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12	1	1	⇒職員側から説明は行っているが、保護者にとって丁寧な説明ができていない方もいた。年度の切り替えの際には、利用者負担等について再度丁寧な説明を行う。また、支援内容については、半期に1度のモニタリング以外にも、定期的に子どもの様子や支援内容について保護者と情報共有できるよう、話をする機会をもつ。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	12	2		・茶話会等を通して、子どもの状況等を知れるのでよかった。現場の担当職員さんも交えた振り返りの茶話会が定期的にあるといいなと思った。 <p>⇒次年度は、現場の職員を交えた茶話会も実施していく。</p>
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14			
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	11	3		・保護者同士のつながりをフォローする人が少なく感じる。 <p>⇒茶話会やクラス会等を開催し、保護者同士の関わりを支援している。孤独な子育てにならないよう、保護者の様子を気にかけて、様子に合わせて、保護者同士のつながり作りを個別でサポートすることも職員の大切な役割として意識する。</p>
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	3		・今回のコロナ禍の中で、活動に対して様々な意見があったが、それが共有されていたか。 <p>⇒コロナ禍の中で、感染症対策を徹底する部分と、その中でも子どもたちの療育活動を保障していきたい部分と、その兼ね合いの難しさがあった。そうした現状や、事業所としての考え、そして保護者の意見を踏まえ検討し、その結果を保護者に伝えてはいたが、結果に至る理由等をもっと丁寧に説明をすべきであった。また、もっと保護者と直接話し合う場をつくる必要があった。次年度は、保護者との意見交換の場をしっかりと作ることを大切にする。</p> <p>⇒感染症対策については、見直しを行い、職員や保護者に周知徹底する。</p>
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11	3		

保護者等向け

放課後等デイサービス評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	12	2		・自分の子どもの学年の様子は分かるが、他の学年の子どもの様子がみえてこない。 ⇒定期的なお便りや行事予定、活動概要等は発信をしているが、子どもたちの活動の様子等を利用者全体に発信する機会が少なかった。次年度は、子どもたちの様子を利用者全体で共有できるよう、お便りの発行回数を増やすなど検討していく。
	14	個人情報に十分注意しているか	13		1	⇒個人情報の管理の仕方について、改めて見直しを行った。
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	5	9		・マスク等の着用が困難であるためなかなか防止は難しいが、発熱等明らかな症状がある場合は、隔離や速やかな降所を徹底して頂けるとお互い安心して利用できると思った。 ⇒感染症対策として、発熱時の対応の仕方についてマニュアルがあるが、隔離の難しい利用者に対して、隔離が徹底しにくいことがあった。隔離の難しい利用者に対しての対策を立て、職員間での周知徹底を行った。 ・コロナ対策について、対策の徹底に時間がかかったように思う。また、来所する外部の人に対する健康チェックはしているか。 ⇒来所する外部の方の健康チェックは行っていたが、事業所内関係者に対しては、各自の報告に任せているところがあった。今後、感染症対策を見直し、周知徹底していく。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10	4		⇒今年度は、地震や火災などの非常災害の発生に備えた訓練を定期的に行った。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	10	3	1	⇒子どもや保護者の声にもっと耳を傾けていく必要がある。保護者の方と一緒に活動を作り上げたり、子どもの様子について情報を共有していける関係性を築いていけるよう、職員間で学習を積み努力していきたい。
	18	事業所の支援に満足しているか	11	3		

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。